

<ベトナム・リサーチ・レポート>

ベトナム胡椒輸出が世界市場で急拡大

～実態経済の活況から紐解くベトナム株式セクター～

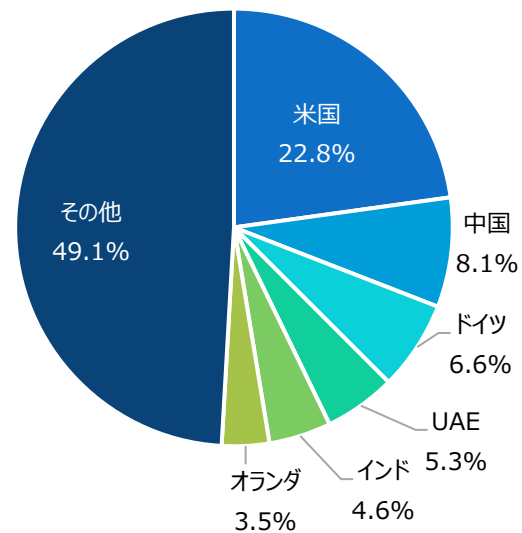
ベトナムでは、「農産物輸出」の存在感を高めています。ベトナム統計局（NSO）によると、2026年1～5月期の農林水産分野の輸出額は306.9億米ドル（前年同期比9.2%増）を記録し、大きな貿易黒字を達成しました。注目されるのが「胡椒」です。

1. 世界市場を席巻するベトナムの胡椒産業

ベトナムは世界の胡椒供給量において約36%のシェアを誇る世界最大の生産国です。2026年1～5月期の税関総局データによると、胡椒の輸出量は約12.2万トン（前年同期比22%増）、輸出額は7.9億米ドル（同14.4%増）と急増しています。

特に、最大輸出先である米国市場においては、米国が輸入する胡椒の78%以上がベトナム産で占められています。また、足元では中国向けの輸出量が前年同期比で約3.9倍に急増し、中国での需給ギャップを背景に高成長を記録しています。

2025年ベトナム胡椒輸出対象国構成比



（出所）2025年胡椒市場レポート

2. 金融・投資の視点：実体経済の活況から紐解く関連銘柄

世界的な通商政策や価格変動などの要因はあるものの、2026年の市場見通しは総じてポジティブです。「胡椒」などの農産物輸出がけん引し、恩恵が期待されるセクターおよび銘柄を紹介します。

（1）物流インフラ・ITセクター（直接的な恩恵）

大量の農産物が輸出されるプロセスで、港湾運営や物流を担う企業、およびトレーサビリティ（追跡可能性）の厳格化に対応するIT企業で恩恵が期待されます。

● ジェマデプト（GMD/Gemadep Corp）

ベトナム最大手の港湾開発・物流企業。主要港湾と国際基準のサプライチェーン網を保有し、ベトナム全体の輸出貨物量（外需）の拡大が中長期の業績拡大に直結する代表に挙げられます。

● FPT（FPT/FPT Corporation）

<免責事項>

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

<ベトナム・リサーチ・レポート>

ベトナム最大の IT 大企業。国家戦略である「農産物デジタル追跡システム」の開発や DX を主導し、スマート農業管理やサプライチェーンの「見える化」技術インフラを支えています。

(2) 金融・銀行セクター（富の循環）

輸出拡大や国際価格の上昇は、地方の農業生産者や輸出業者に潤沢なキャッシュをもたらします。リテール（個人向け）や中小企業（SME）ビジネスに強みを持つ大手商業銀行にとって、大きなプラス要因です。

- **VP バンク（VPBank / ベトナム繁栄商業株式銀行）**

リテールおよび SME 部門で国内トップクラスのシェアを誇る民間系の雄。消費者金融や中小企業向け運転資金ローンに強みを持ち、日本の三井住友フィナンシャルグループと資本業務提携しています。

- **ベトコムバンク（Vietcombank / ベトナム外商銀行）**

時価総額・純利益ともに首位に君臨する国営系トップ銀行。歴史的に外国為替や国際貿易決済に圧倒的な強みを持ち、貿易を行う優良な中堅・中小企業（SME）の顧客基盤を多く抱えています。

(3) 農業資材・化学セクター（生産性向上）

欧米など高級市場の厳格な規制をクリアするため、「ただ量売る農業」から「高品質な農業」へのシフトが進み、環境配慮型の資材需要が高まっています。

- **ペトロベトナム・カマウ肥料（DCM / PetroVietnam Camau Fertilizer JSC）**

国営石油ガスグループ（PVN）傘下の巨大肥料メーカー。「グリーン農業」を掲げ、環境汚染を防ぐ独自の環境配慮型肥料の開発に強みがあり、海外の厳しい品質・環境基準に適応できる技術力を有します。

欧米や日本向け輸出で求められる残留化学物質の規制や、炭素排出、労働環境への基準の厳格化は、ベトナムの高度化を促す最大の契機です。これにより低品質なメーカーは淘汰され、国際基準を満たす資材を提供できるカマウ肥料（DCM）や、サプライチェーンの透明性を支える高度 IT 技術を持つ FPT のような、技術力と資本力のある業界リーダーに市場シェアが集中します。

<免責事項>

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。